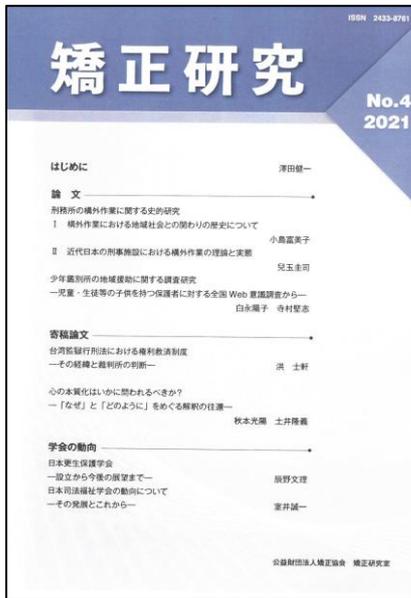


矯正研究 第4号



(B5判 税込価格 1650 円)

◎「刑務所の構外作業に関する史的 research」は、構外作業の歴史を振り返り、地域社会に貢献した事例を紹介するとともに、法制度や構外作業の目的の変遷について分析したものである。

◎「少年鑑別所の地域援助に関する調査研究」は、法務少年センター等を中心とした少年鑑別所の地域援助について、一般市民を対象とした Web 調査を通じて得られた知見等を基に、今後の更なる利用促進、充実強化のための方策を検討したものである。

◎その他、矯正や刑事政策に関連する分野の専門家からの寄稿論文、矯正に関連する学会の活動報告など、幅広い情報を掲載しており、矯正職員や関係者に是非御一読を願いたい。

内 容

論 文

刑務所の構外作業に関する史的 research

- I 構外作業における地域社会との関わりの歴史について 矯正研究室 小島富美子
II 近代日本の刑事施設における構外作業の理論と実態 舞鶴工業高等専門学校 兒玉 圭司

少年鑑別所の地域援助に関する調査研究

- 児童・生徒等の子供を持つ保護者に対する全国 Web 意識調査から —
矯正研究室 白永 陽子
常磐大学 寺村 堅志

寄稿論文

台湾監獄行刑法における権利救済制度 — その経緯と裁判所の半断 —

台湾弁護士 文化大学非常勤講師 洪 土軒

心の本質化はいかに問われるべきか？

- 「なぜ」と「どのように」をめぐる解釈の往還 —
岩手県立大学 秋本 光陽
筑波大学 土井 隆義

学会の動向

日本更生保護学会 — 設立から今後の展望まで — 国士舘大学 辰野 文理

日本司法福祉学会の動向について — その発展とこれから —
公益財団法人全国篤志面接委員連盟 室井 誠一